

「全員が避難所へ」は勘違い!?

～豪雨・風水害から命を守る～



大雨や洪水時の『警戒レベル』。「レベル3や4が出たら全員が避難所へ逃げる」と思っていませんか？

実は、土砂災害警戒区域や浸水リスクの高い平屋などでない限り、暴風雨の中での移動はかえって危険な場合もあります。ハザードマップで安全が確認できれば「自宅の2階へ逃げる(垂直避難)」も立派な避難です。自分と家族に合った避難の形を一緒に考えましょう！

地域防災支援員の
「今日からやろう」
防災力UP

No.17



むらやま りゅういち
村山 隆一

白糠町出身。釧路市西消防署白糠支署長などを歴任し、現在は白糠町の地域防災支援員として活動している。

「避難＝避難所に行く」
だけじゃない！

問 警戒レベル4が出たら、地域の全員が避難所へ向かうべきでしょうか？

答 必ずしも全員ではありません！

土砂災害警戒区域や浸水リスクの高い家は即立ち退き避難が必要ですが、自宅が浸水想定区域外や2階以上であれば「自宅での垂直避難」が安全な場合もあります。

危険な夜間・暴風雨の
無理な移動は避ける

問 外は大雨と暴風。それでも避難所へ走ったほうがいいですか？

答 まずは情報をこまめに確認し、

雨風が強くなる前(レベル3)に早期避難するのが原則です。暴風雨や夜間の外出は転倒などの危険が伴います。どうしても移動が困難な場合の最終手段として、無理な外出は避け「2階の安全な部屋」へ移動(垂直避難)しましょう。

「おうち避難」に必要な
手元の備え

問 自宅での垂直避難を選ぶ場合、

どんな準備が必要ですか？

停電や断水が起きても「2階で数日間過ごせる備え」が必要です。水・非常食に加え、ポータブル電源、懐中電灯、そして「簡易トイレ」を2階や安全な場所に確保しておきましょう。



わが家のリスクを知り、
次のアクションへ！

「わが家は垂直避難で大丈夫？」「立ち退き避難が必要？」を知る

第一歩は、ハザードマップの確認です。ご家庭にお届けしているものもありますが、スマホで簡単に確認できる防災マップWeb版ほか、個別のご相談や講話の申込も受付中です。

●防災ニュース

鉄北2区町内会 もしもの避難に備えて訓練

鉄北2区町内会(池村美博会長)は9月26日、有事の際に車いすの避難者がいたことを想定した避難訓練を行いました。

15人が参加し、旧田中商店から同町内会の避難指定場所となっている東山まで、車いすの操作を確認しながら、いざという時に備えました。



●個別防災相談&防災講話の申込み

「ハザードマップの見方がわからない」「我が家の避難計画を相談したい」「地域やグループで講話を聴きたい」など、おひとり様から大歓迎です！左のQRコードの申し込みフォームよりお気軽にお申し込みください。もちろん、電話でも受け付けます。

☎212171 役場危機対策課

防災マップWeb版

<https://www.town.shiranuka.lg.jp/kurashi/bousai>



津波避難アンケート

<https://logoform.jp/form/imyj/1541490>



個別相談・防災講話申込

<https://logoform.jp/form/imyj/1627002>

